



瀬戸小だより

ふれ合う 認め合う 共に学ぶ 笑顔あふれる瀬戸ヶ谷小学校

mail:y3setoga@edu.city.yokohama.jp

学校だより 8・9月号
令和5年8月28日
横浜市立瀬戸ヶ谷小学校
校長 松永 淳子
TEL 713-8336 FAX 713-9749

瀬戸ヶ谷小学校

検索 

備えあれば

校長 松永 淳子

WBGT（暑さ指数）の値が連日嚴重警戒を超え危険を示している頃、夏休みがスタートしました。夏野菜は水不足で形が変形したり舌触りが変わったりしていると耳にしました。そんな中、4年生の育てているひょうたんが、この夏休みにぐんぐんと茎が伸び、青々とした葉を茂らせ、花が咲きました。夏の日差しをたっぷり受け、成長していることに安堵いたしました。

夏休みの間、海外では山火事、日本では台風7号が猛威を振るい災害がもたらす怖さを映像を通して目にすることとなりました。ここ横浜でも、突然の雷や大雨で数分外を歩くのさえも大変な状況の時がありました。また、新幹線や飛行機が運休し、予定の変更を余儀なくされたご家庭もあったのではないのでしょうか。更に、断水、停電と日常の便利な生活を一遍させてしまう状況も伝わってきました。

毎年9月1日は防災の日です。この日を含む1週間は防災週間となっています。瀬戸ヶ谷小学校でも9月1日に総合防災訓練を実施いたします。この訓練では、大地震（震度7、直下型）が発生し停電、給食室から出火するという想定で行います。みなさんはこのような場合どのように考え、行動しますか。停電が起きていますから、放送で避難について指示を出すことも給食室から出火していることも伝えることはできません。これまで行ってきた避難訓練での経験を活かすと揺れを感じた時点で子どもたちは、自分の命を守るために校舎内にいた場合は机の下に入る、校庭ではその中心辺りに集合する。ということになります。給食室からの出火については、教職員が分担しその状況と避難経路について各階ごとに伝えにいきます。それに従い子どもたちは「おさない かけない しゃべらない もどらない」（おかしもと子どもたちは認識しています。）の約束の元、校庭まで避難します。その間、教職員は子どもたちの安全を確保しながら誘導、人数確認、初期消火などを行っていきます。放送で一斉に指示を出すことができませんから、いかに迅速にこれらのことを行っていかかが命を守ることに繋がっていきます。

毎年この訓練を行う頃、寺田 寅彦さんの「天災は忘れたころにやってくる」という言葉を思い出します。東日本大震災から12年程が経とうとしています。計画停電が横浜でも実施され、卒業式は節電をしながら行いました。この訓練を機に学校でも子どもたちと防災についての意識を高めていきたいと考えています。それぞれのご家庭でも話題にさせていただき備えや対応について話し合ってみてはいかがでしょうか。いざというときに少しでも冷静に対応するために。

本日、約40日ぶりに子どもたちの明るい声が、校舎に響き渡りました。暑い日が続いていますが、子どもたちが元気に安全に過ごすことができるよう見守って参ります。保護者や地域の皆様も引き続きご協力いただきますようお願い申し上げます。